

備前市事務事業評価シート

事業の概要		根拠法令・規程等	各施設設置条例、設置条例施行規則
事業開始年度	ふるさと館H10.12-、農園H9.12-、つり堀H5.3-、紅葉会館H7.7-	問 担当課(室)	吉永総合支所 窓口管理課
総合計画	大項目 基本目標 04 もてなしの心とたくましさのあるまちづくり	職・氏名	参事 中田 直紀
中項目 基本施策	01 豊かな食を支えるまちづくり	電 話	0869-84-2513
小項目 施策	01 農業	このシート作成に要した時間 5.0 時間	
事務事業名		10 山村地域活性化施設管理事業	

事業の目的		事業の意図する成果とつなげる成果指標を設定
対象(誰・何に対して)	観光客、神根地区民外	
目的(何のために)	施設の適正な管理と効率の良い運営及び優先機関としての機能維持	
事業の意図する成果(どのような状態にしたいのか)	施設の適正な管理により、観光客・利用者の増加が期待できる	

事業の実績			
目的を達成するため実施した事業	細事業名	事業の説明	優先度
	南方つり堀公園管理運営事業	観光客と市民のふれあいを深め、地域住民の就労機会の増大を図ることを目的として設置された南方つり堀公園の管理運営	
	八塔寺ふるさと農園管理運営事業	豊かな自然に恵まれた地域資源を活用し、都市住民と農村住民の交流と共生を図るとともに、農業農村振興と活性化に寄与することを目的として設置された八塔寺ふるさと農園の管理運営	
	紅葉会館管理運営事業	中山間地域の農業等振興と住民福祉を向上させ、地域の活性化を図る。また、地区公民館として、生涯学習の中核として、様々な学習の機会や活動の場を提供するとともに、自発的な活動を奨励し、地域社会の形成や文化の振興を図ることを目的に設置された紅葉会館の管理運営	
	神根生活改善センター管理運営事業	山村地域住民の生活の合理化、近代化並びに教養の向上及び福祉増進等の総合的かつ拠点的な管理運営	
	特産品処理加工施設管理運営事業	地域住民の地場産業の発展と雇用機会の創出を図ることを目的として設置された三国特産加工施設の管理運営	
	八塔寺森林浴公園管理運営事業	自然環境にある森林を保護するとともに、森林の観察及び探求を通じて市民の自然への理解及び自然とのふれあいを深め、もって市民の福祉の増進を図る	

決算額	事業費等		単位	平成21年度実績	平成22年度実績	平成23年度実績
	事業費	直接事業費	千円	7,763	7,691	7,644
	必要人員	人件費	千円	1.31人	1.13人	1.12人
	事業費	費	千円	13,003	11,387	11,067
	国	支出金				
	受	益者負担				
	繰	入金				
市	債					
源	一般財源		96	41	41	
受	益者負担比率	%	12,907	11,346	11,026	
結	果指標名	単位	平成21年度実績	平成22年度実績	平成23年度実績	

結果指標	結果指標量	説明	南方つり堀公園、八塔寺ふるさと農園、紅葉会館の業務委託件数	3	3	3
	対前年比	%		-	100.0%	100.0%
	活動コスト	円		13,003,000	11,387,000	11,067,000
	単位当たりコスト			4,334,333	3,795,667	3,689,000

事業の成果						
成果指標名	年度	平成21年度	平成22年度	平成23年度	平成24年度目標値	
	直接事業費(南方つり堀公園、八塔寺ふるさと農園、紅葉会館)	目標値(A)	7,423	7,374	7,306	前年度実績の5%減
		実績値(B)	7,763	7,691	7,644	到達目標値
	達成率(B/A)	104.58%	104.30%	104.63%	毎年	
成果指標設定の考え方・式や説明						
対前年度の直接人件費の比較						

事務事業の評価		該当する項目を から へ < 「コピー」して「貼り付け」してください >	Check
妥当性の評価	市の関与の妥当性	市が実施するよう法令で義務づけられている 法令で義務づけられていないが、実施しなければ大半の市民の日常生活に支障をきたす 現在市が実施しているが、実施しなくても市民の日常生活に支障をきたさない 事業の内容が一部の受益者に偏っている 対象者は限定的であるが社会的弱者等を対象としている 現在の市を取り巻く環境からも目的・意図する成果は妥当である 事業開始当初の目的から変化してきている 事業開始当初の目的は、ほぼ達成されている 厳しい財政状況であるが、実施する必要がある	妥当性評価 A B C D E 高や普や低 いや通やい 高 低 い しい B
	市民ニーズ	市民・団体等から要望・要請が強い	
効率性の評価	コスト	単位当たりコストは前年度と比較して改善している 実施方法(派遣・委託含)を見直すことでコストを下げる余地がある 事務の電子化や事務改善によりコストを下げる余地がある コスト削減の努力はしているが、下がる余地は小さい 受益者負担率は適正である 受益者負担率を見直す余地がある サービスを維持するためこれ以外、他に手段が見当たらない 現在の手段は過剰なサービスのため、改善の余地がある 最適な手段を求めて職場内で改善・研修に努めている	効率性評価 A B C D E 高や普や低 いや通やい 高 低 い しい C
	有効性の評価	目的達成度 市民参画度	有効性評価 A B C D E 高や普や低 いや通やい 高 低 い しい C

進行年度(H24年度)の改革改善内容						
状況	拡充	現状継続	見直し	縮小	整理統合	休止
						廃止・完了
説明		前年度と同様に、施設の維持管理委託(指定管理を含む。)をすることで、施設を適正に維持管理し、地域住民及び観光客が快適・安全に施設を利用できる状態を維持する。また、年間を通して利用のない施設についても適正な管理に努める。				

総合評価		総合評価 A B C D E 高や普や低 いや通やい 高 低 い しい B
施設の中には年間を通して使用されていない施設もあるが、概ね昨年度と同様に地区住民及び観光客に利用されている。今後も、市と受託者(指定管理者)が相互に協力し、地区住民及び観光客のニーズに合った快適・安全な施設の管理運営に努め、効率的かつ効果的な施設の管理を行い、経費の削減を図りたい。また、茅葺屋根等施設の老朽化も進んでいるため、今後、計画的な修繕の必要がある。		

平成25年度の方向性・取組目標						
方向性	拡充	現状継続	見直し	縮小	整理統合	休止
						廃止・完了
取組目標		地区住民及び観光客のニーズに合った安全・快適な施設の運営に努め、効率的かつ効果的な施設の管理を行い、経費削減を図りたい。また、年間を通して利用されていない施設については、施設の廃止を含め検討する必要がある。				

事業の目的、対象、内容を考えながら妥当性を評価

事業費や受益者負担比率、単位当たりコストに留意しながら効率性を評価

事業の目的やその数値目標を評価しな

Action